

MS344-28011/2

GRサイドスカート

取付・取扱要領書

この度はGRサイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS344-28011-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン(070)	ヴォクシー	MZRA90/5W ZWR90/5W	'22.1~	
MS344-28011-C0	アティチュードブラックマイカ(218)				
MS344-28012-NP	未塗装品				

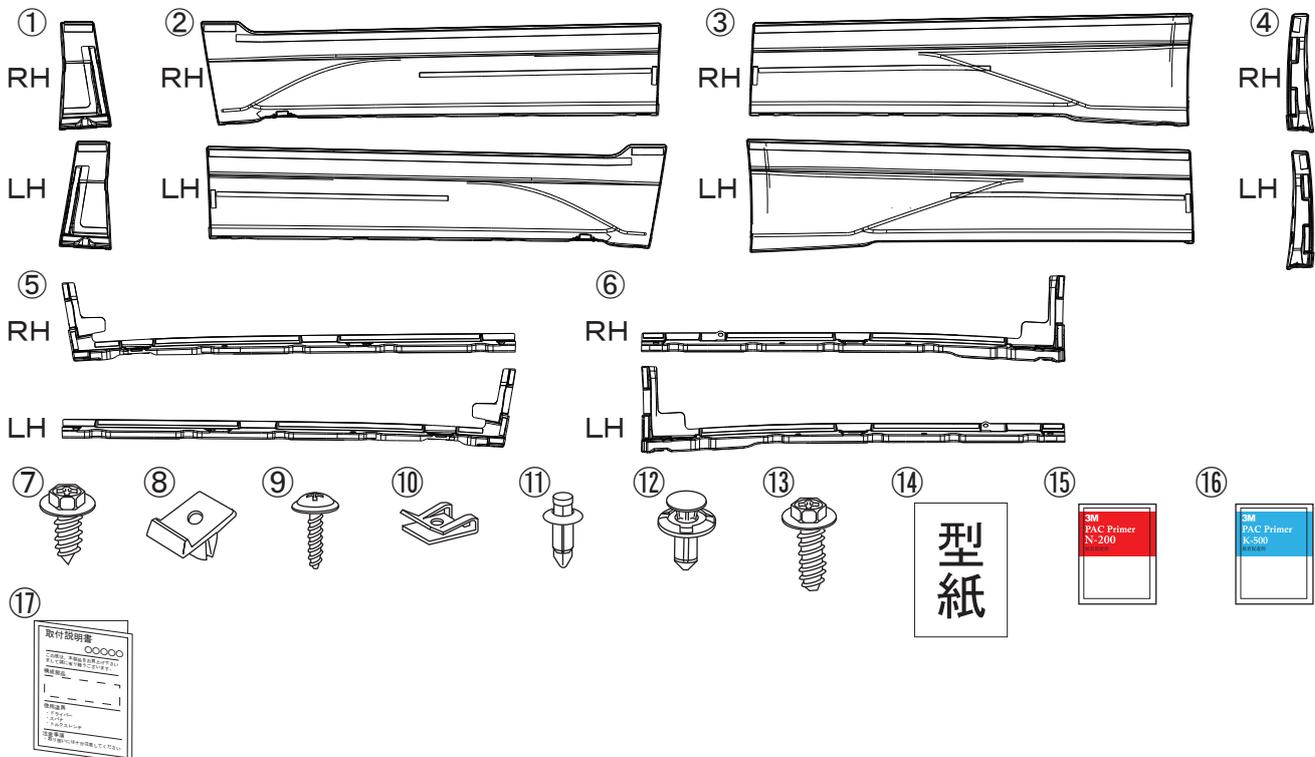
・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	FRフェンダーピース (RH/LH)	各1	
②	FRドアアウターピース (RH/LH)	各1	
③	RRドアアウターピース (RH/LH)	各1	
④	RRフェンダーピース (RH/LH)	各1	
⑤	FRドアインナーピース (RH/LH)	各1	
⑥	RRドアインナーピース (RH/LH)	各1	
⑦	タッピングスクリューA	6	6×16
⑧	グロメット	6	
⑨	タッピングスクリューB	4	5×16
⑩	Jナット	4	
⑪	クリップA	2	
⑫	クリップB	16	
⑬	タッピングスクリューC	6	6×20
⑭	型紙	1	
⑮	PACプライマー (赤袋)	1	N-200
⑯	PACプライマー (青袋)	1	K-500
⑰	取付・取扱要領書	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図 ※①②③④⑤⑥は裏面視

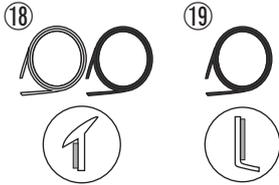


以下、MS344-28012-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品名	個数	備考
⑱	モール（イ型）	各2	黒：L=2200 ライトグレー：L=2500
⑲	モール（L型）	1	黒：L=800

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



モール（イ型）⑱推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイトパールクリスタルシャイン(070)	ライトグレー
メタルストームメタリック(1K0)	ブラック
マッシュグレー(1L6)	ブラック
アティチュードブラックマイカ(218)	ブラック
スパークリングブラックパールクリスタルシャイン(220)	ブラック
グリッターブラックガラスフレーク(226)	ブラック
レッドマイカメタリック(3R3)	ブラック
スチールフロントメタリック(4X1)	ライトグレー

取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～3
2. 取付上のご注意（取付業者の方へ） 4
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 5
4. 取付準備、取付要領 6～18
5. 取付完了後の点検・注意事項 18
6. 未塗装品の取り扱いについて 19～21
7. 補修キット両面テープ貼り付け 22

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
- ・ エアソー・電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/9.0mm/10.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

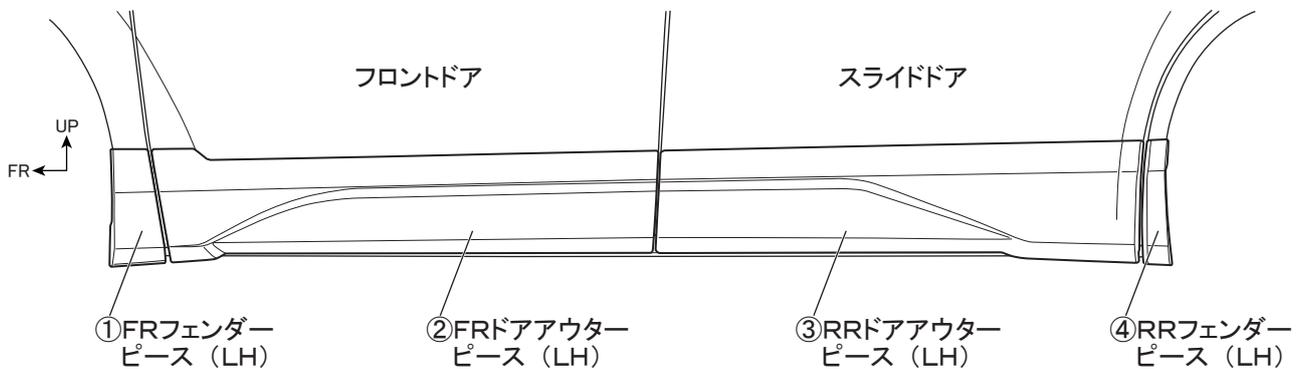
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は TRD パーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

※LH図示

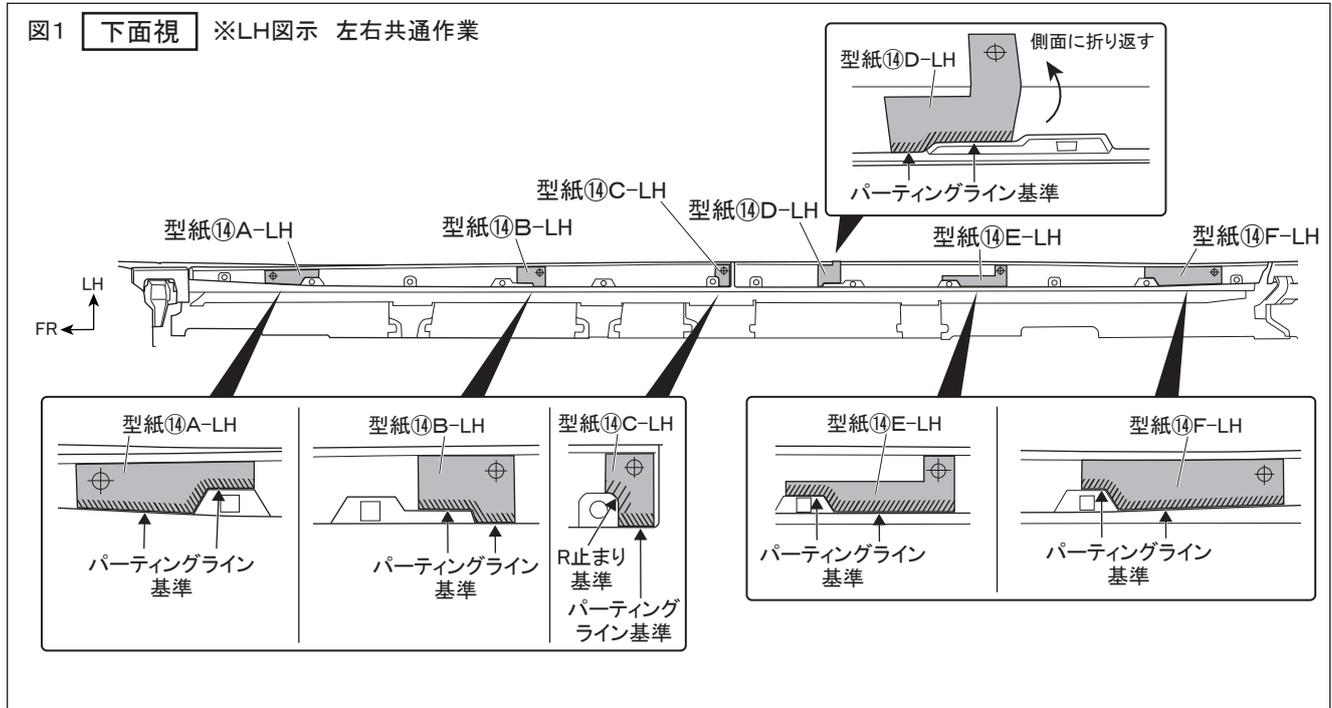


■ 取付準備、取付要領

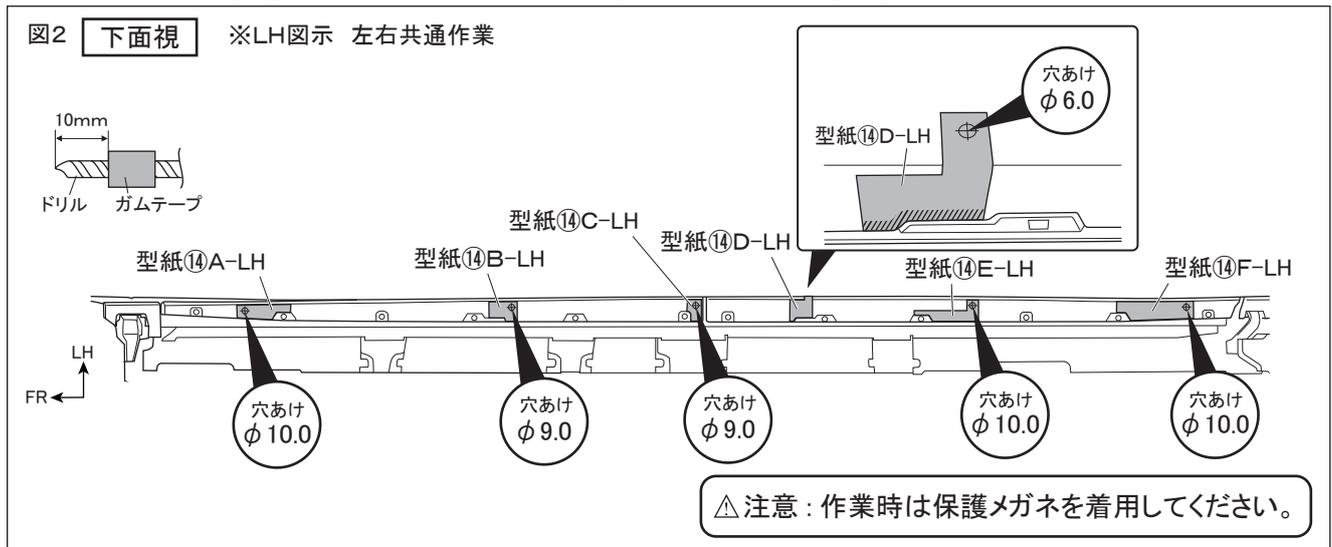
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ サイドスカート取付準備

1. 図1のように型紙⑭A、B、C、D、E、Fを車両サイドシルガーニッシュ下面および側面に貼り付ける。
(左右各6箇所)

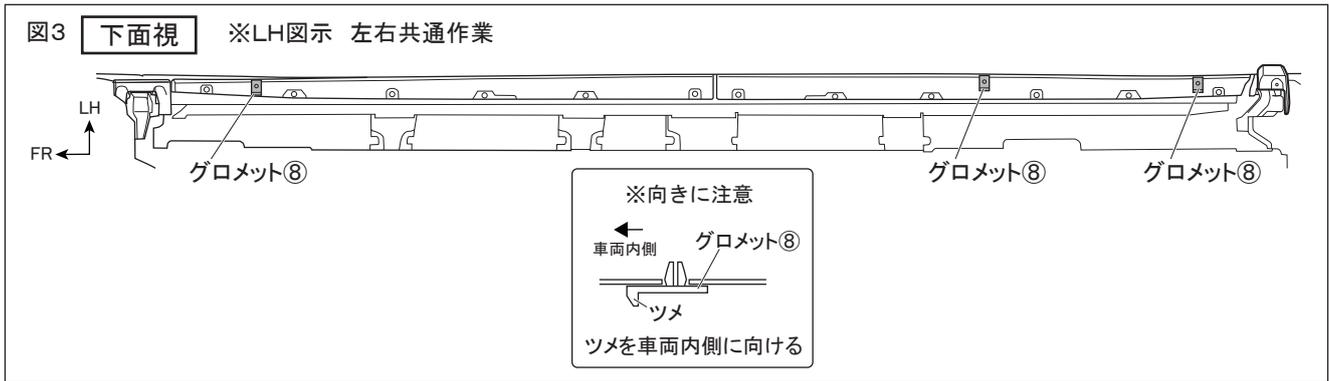


2. 図2のように車両サイドシルガーニッシュ下面および側面の型紙⑭A、B、C、D、E、Fの穴あけ位置に合わせて穴をあける。
 - ・フロント下面 型紙⑭A: 下穴 $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ 、本穴 $\phi 10.0$ (左右各1箇所)
 - ・フロント下面 型紙⑭B、C: 下穴 $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ 、本穴 $\phi 9.0$ (左右各2箇所)
 - ・リヤ側面 型紙⑭D: 下穴 $\phi 3.0$ 、本穴 $\phi 6.0$ (左右各1箇所)
 - ・リヤ下面 型紙⑭E、F: 下穴 $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ 、本穴 $\phi 10.0$ (左右各2箇所)



アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

3. 型紙⑭A、B、C、D、E、Fを剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。(左右各6箇所)
4. 図3のように車両サイドシルガーニッシュ下面のφ10.0加工穴に合わせてグロメット⑧を取り付ける。
(左右各3箇所)



5. 図4のように車両側面にサイドスカート取り付け位置高さおよび前後方向を図示寸法で計測し、マスキングテープ等でマーキングする。

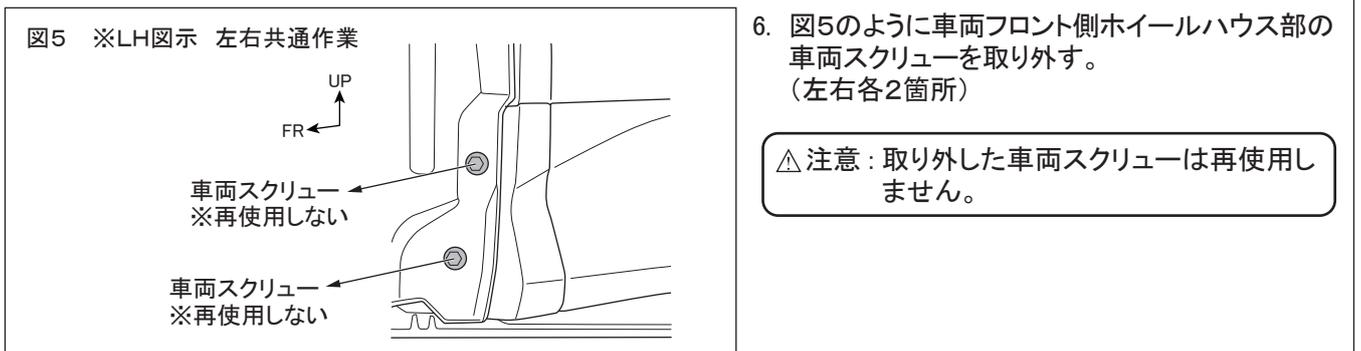
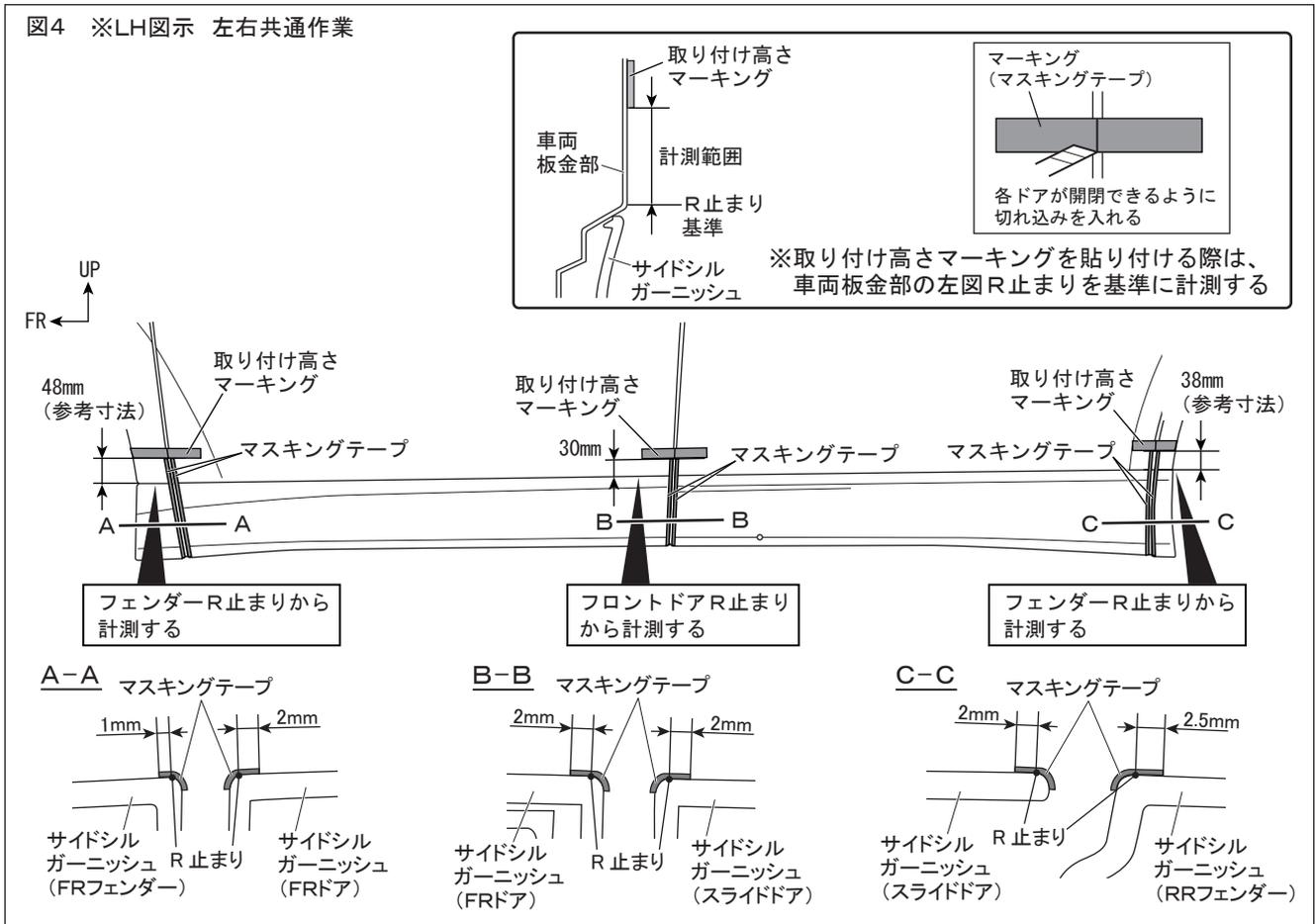
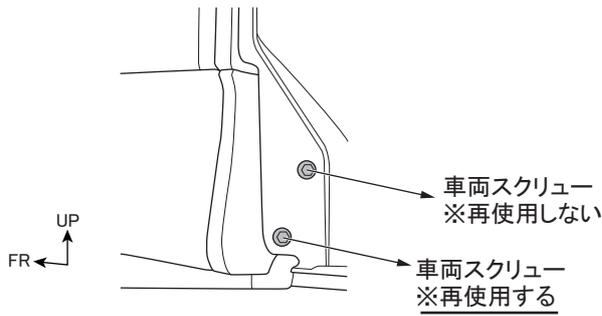


図6 ※LH図示 左右共通作業

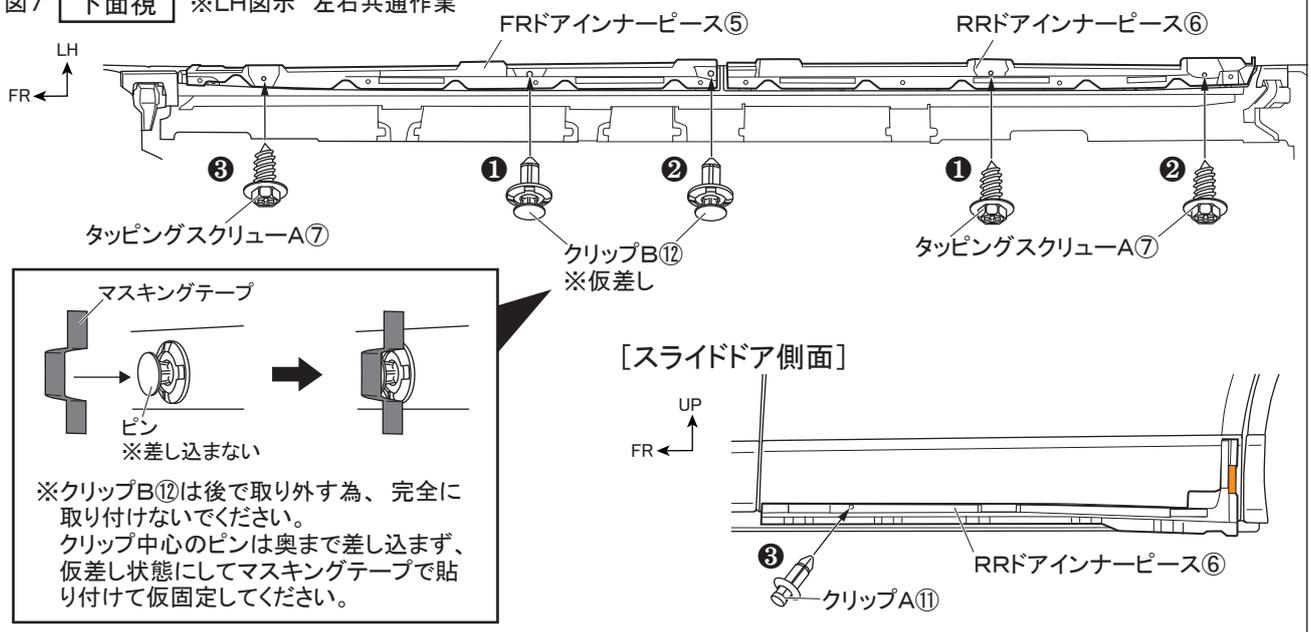


7. 図6のように車両リヤ側ホイールハウス部の車両スクリューを取り外す。
(左右各2箇所 ※下側のみ再使用する)

△注意：取り外した車両スクリューは一部再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

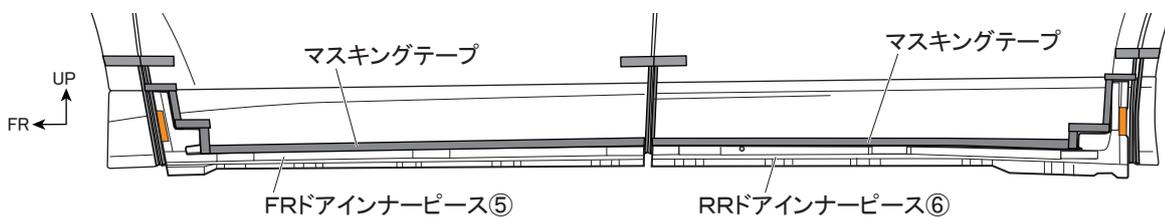
8. 図7のように車両サイドシルガーニッシュ下面にFRドインナーピース⑤、RRドインナーピース⑥をあて、下図順番で下面をタッピングスクリューA⑦(左右各3箇所)で仮締めし、クリップB⑫(左右各2箇所、※仮差し)、リヤ側面をクリップA⑪(左右各1箇所)で固定する。

図7 下面視 ※LH図示 左右共通作業



9. 図8のようにFRドインナーピース⑤、RRドインナーピース⑥端末に合わせて車両側面にマスキングテープを貼り付ける。

図8 ※LH図示 左右共通作業

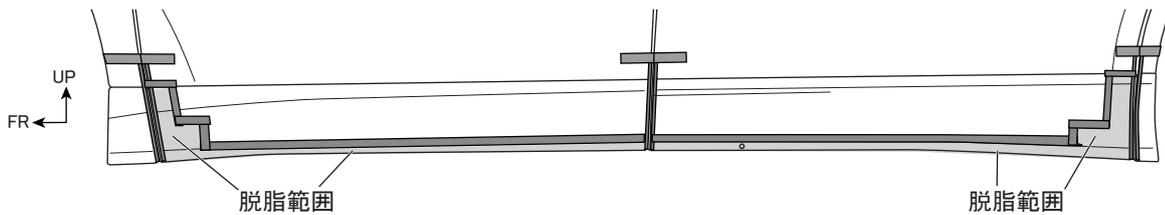


△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

10. FRドインナーピース⑤、RRドインナーピース⑥を取り外す。

11. 図9のようにFRドインナーピース⑤、RRドインナーピース⑥の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図9 ※LH図示 左右共通作業

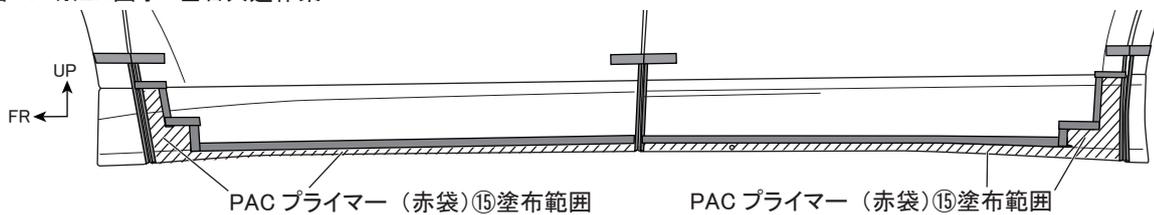


△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

12. 図10のようにFRドインナーピース⑤、RRドインナーピース⑥の両面テープ貼り付け部（下図斜線部）にPACプライマー（赤袋）⑮を塗布する。

図10 ※LH図示 左右共通作業



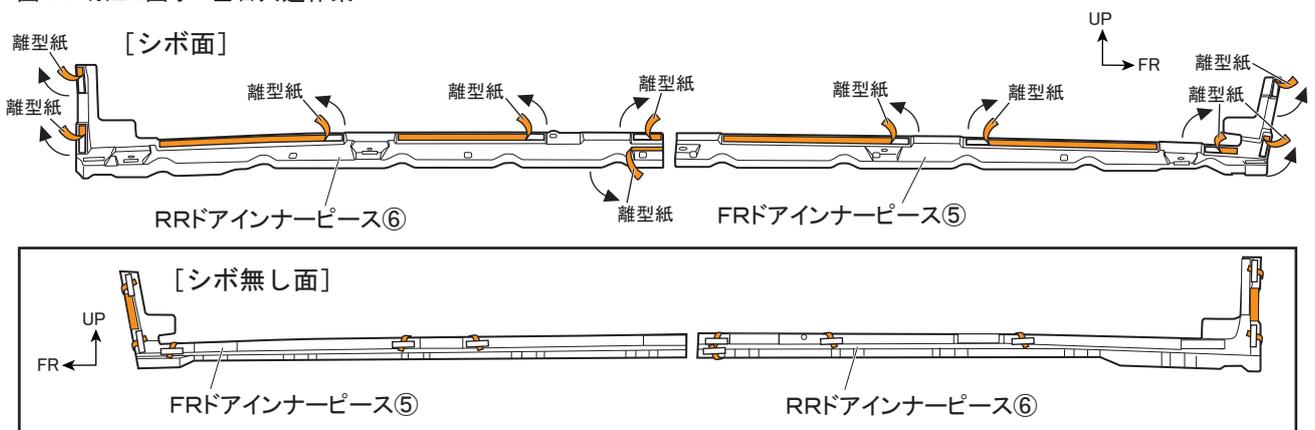
△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

△注意：PACプライマー（赤袋）は後の作業に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

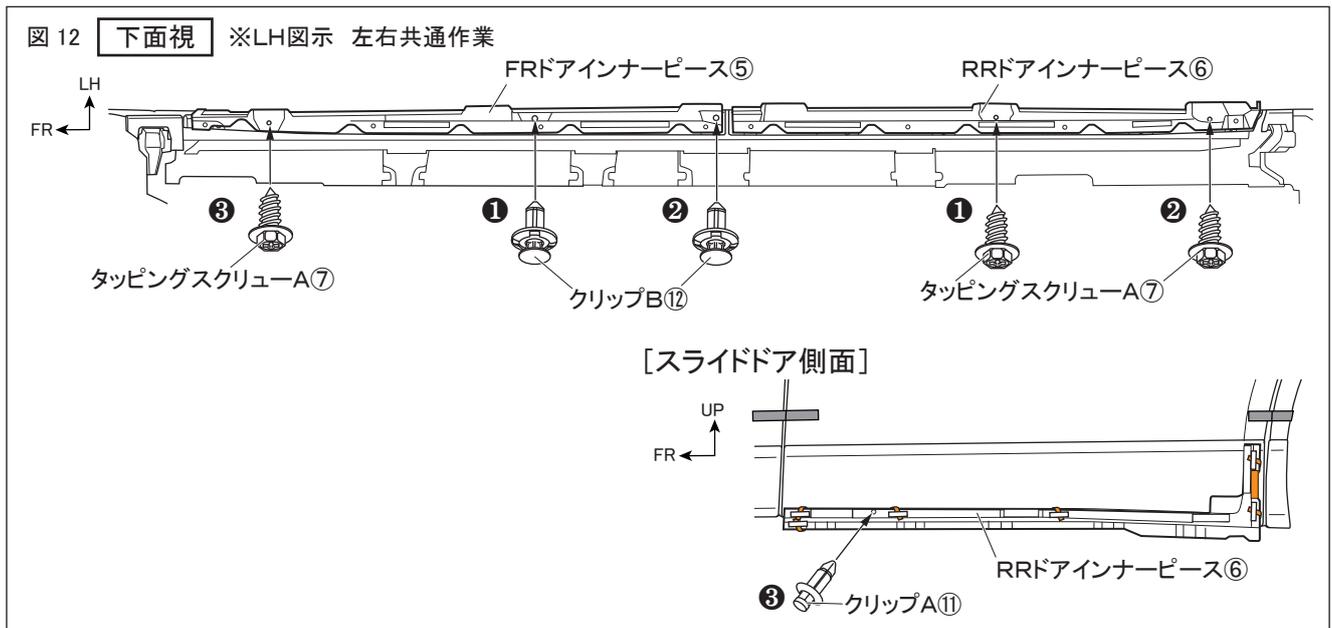
13. 8ページ9.で貼り付けたマスキングテープのみ剥がす。
※取り付け高さマーキングおよび各サイドシルガーニッシュ間に貼り付けたマスキングテープは剥がさないでください。

14. 図11のようにFRドインナーピース⑤表側（シボ面）、RRドインナーピース⑥表側（シボ面）の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で裏側（シボ無し面）に貼り付ける。
（FRドインナーピース⑤：左右各5箇所）
（RRドインナーピース⑥：左右各6箇所）

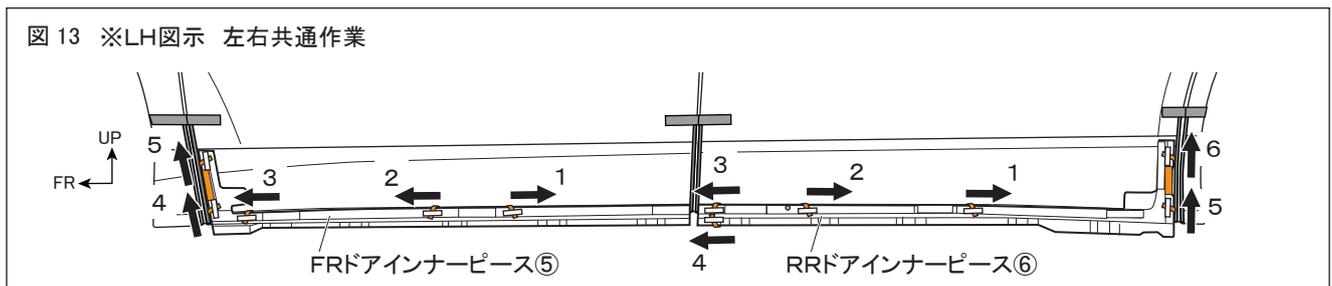
図11 ※LH図示 左右共通作業



15. 図 12 のように車両サイドシルガーニッシュ下面にFRドインナーピース⑤、RRドインナーピース⑥をあて、下図順番で下面をタッピングスクリューA⑦(左右各3箇所)で本締めし、クリップB⑫(左右各2箇所)、リヤ側面をクリップA⑪(左右各1箇所)で固定する。

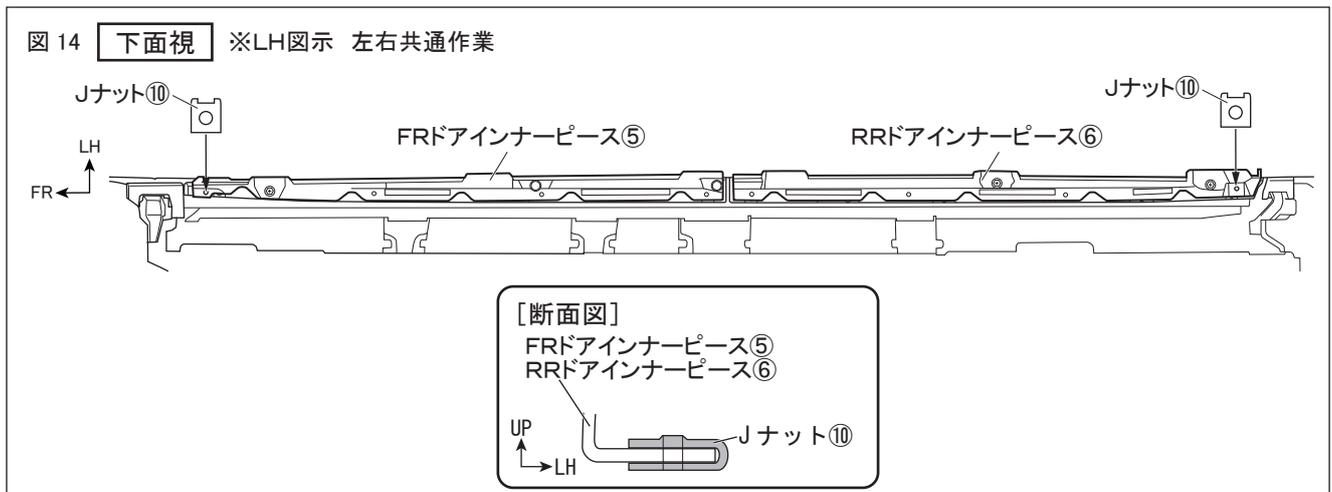


16. 図 13 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各11箇所)



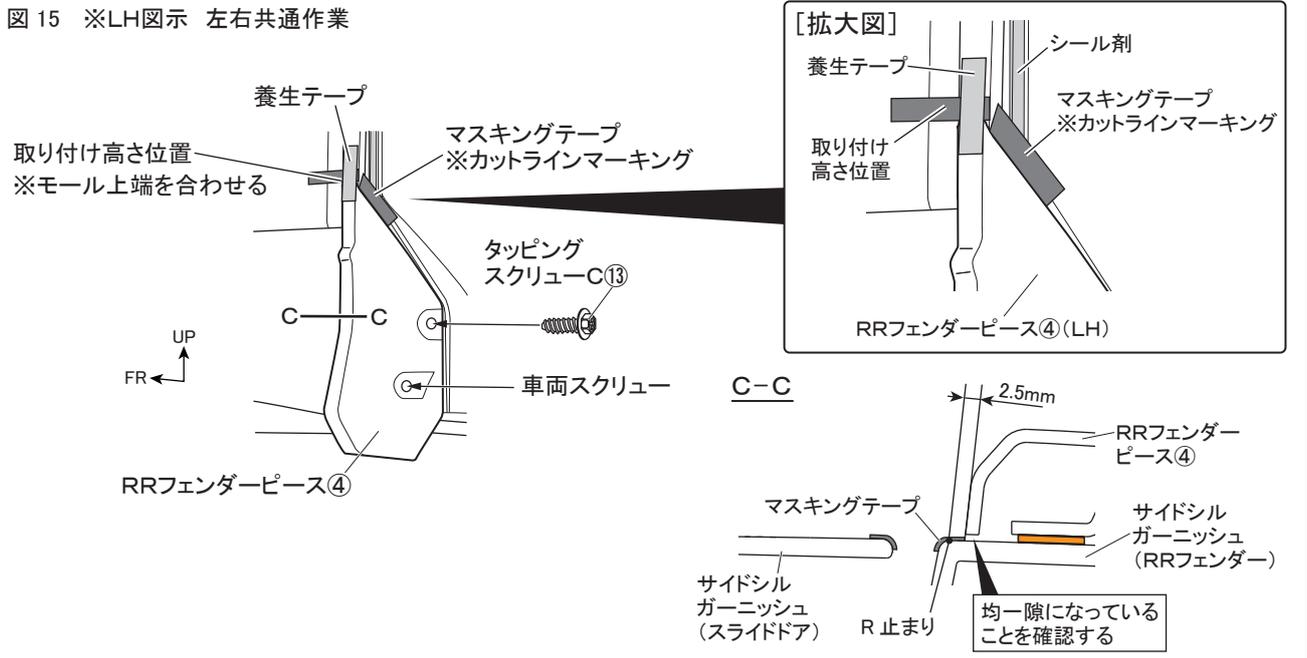
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

17. FRドインナーピース⑤下面前側のタッピングスクリューA⑦(左右各1箇所)を取り外す。
18. 図 14 のようにFRドインナーピース⑤、RRドインナーピース⑥にJナット⑩を取り付ける。(左右各2箇所)



19. 図 15 のようにRRフェンダーピース④のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部上側をタッピングスクリューC⑬(左右各1箇所)、下側を車両スクリュー(左右各1箇所)で仮締めし、養生テープで仮固定する。
20. 図 15 のように車両リヤホイールハウス折り返し部のシール剤を一部切除加工するため、RRフェンダーピース④端末部を基準に上方のシール剤にカットラインをマスキングテープでマーキングする。

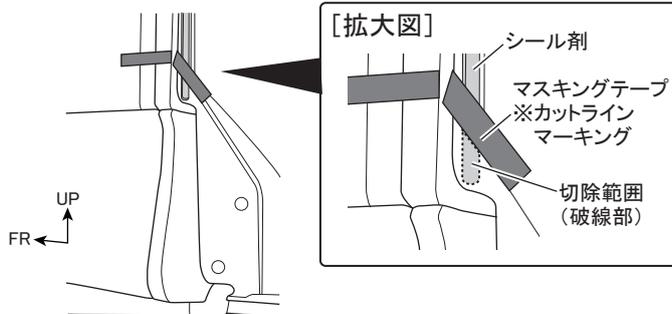
図 15 ※LH図示 左右共通作業



21. RRフェンダーピース④を取り外す。

22. 図 16 のようにカットラインマーキングを基準に塗装面に傷をつけないようシール剤を1mm程度残し切除加工する。(左右各1箇所)

図 16 ※LH図示 左右共通作業



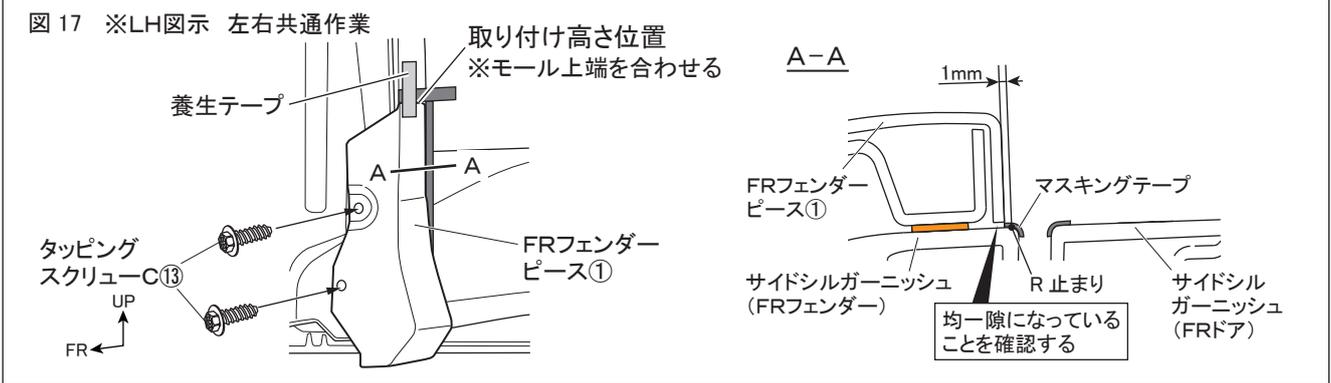
⚠ 注意: シーリング剤を切除する前に、切除する範囲のパネル面に保護の為、布テープ等を貼り付けてください。

⚠ 注意: 除去する際は、怪我と塗装面への傷付きに注意してください。万一、塗装面を傷つけてしまった場合は確実にタッチアップペイントを塗布し、乾燥してから次の作業に進んでください。

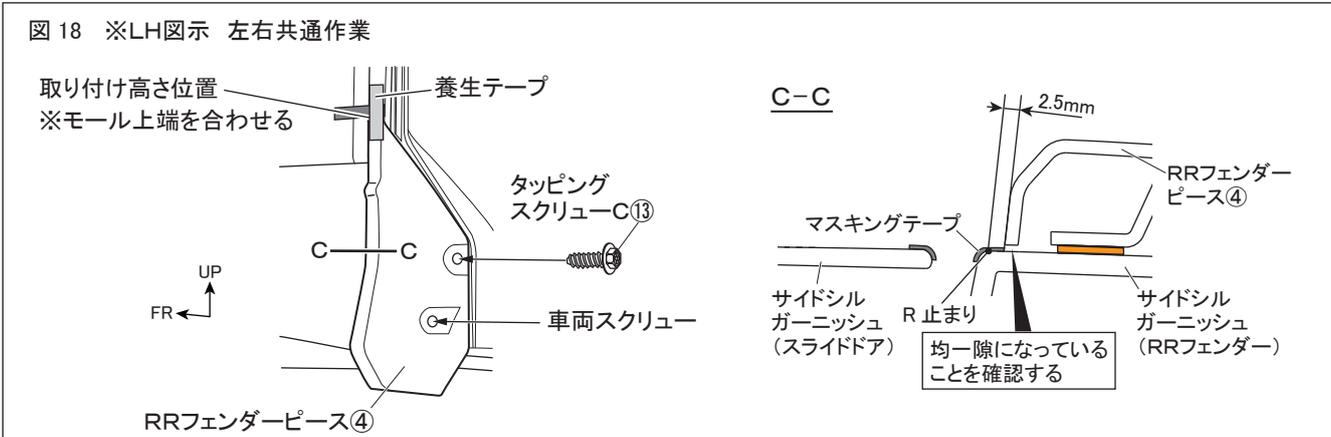
⚠ 注意: 作業時に脱脂した箇所に油脂分を付着させた際は、再度脱脂を行ってください。

23. カットラインマーキングを剥がす。(左右各1箇所)

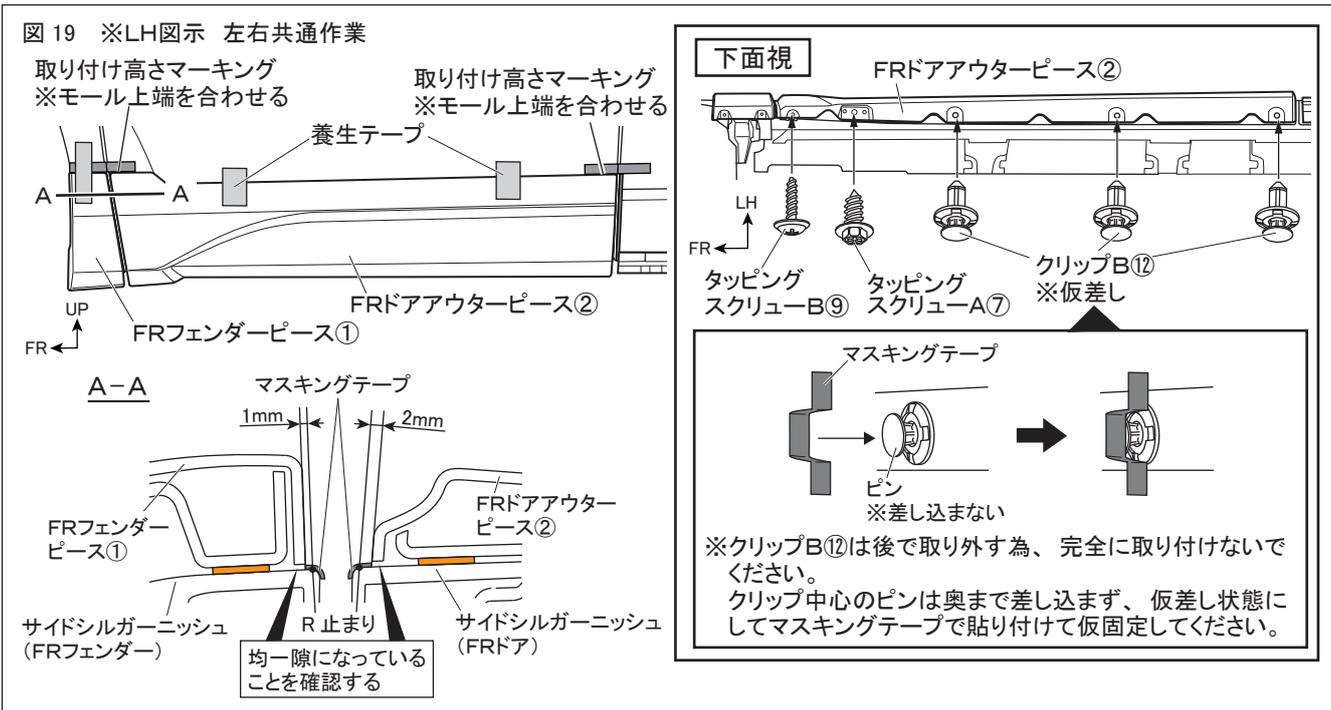
24. 図 17 のようにFRフェンダーピース①のモール上端を取り付け高さマーキング、側面末端を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部をタッピングスクリューC⑬で仮締めし（左右各2箇所）、養生テープで仮固定する。



25. 図 18 のようにRRフェンダーピース④のモール上端を取り付け高さマーキング、側面末端を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部上側をタッピングスクリューC⑬（左右各1箇所）、下側を車両スクリュー（左右各1箇所）で仮締めし、養生テープで仮固定する。

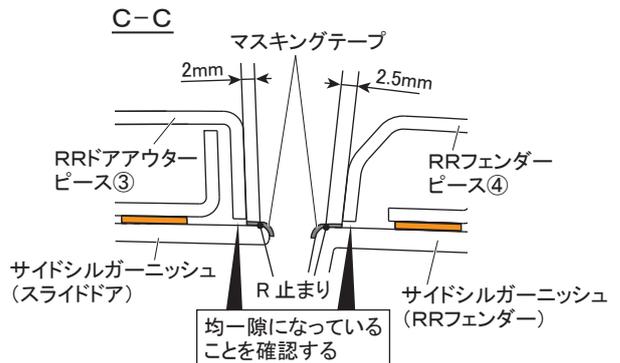
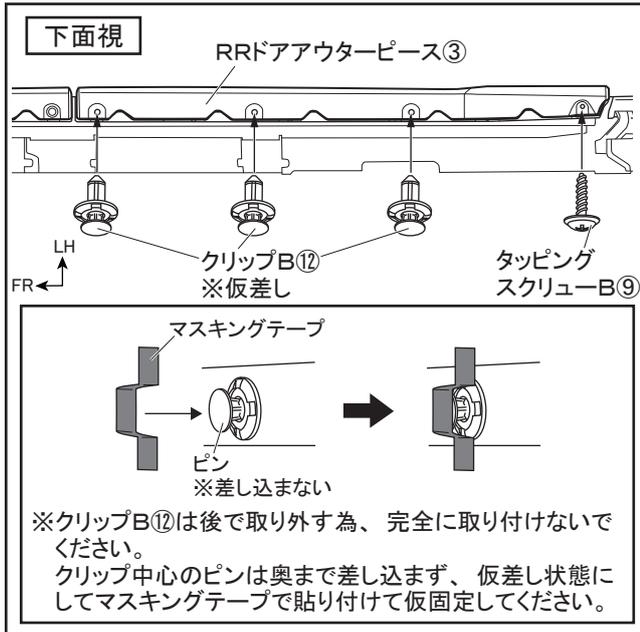
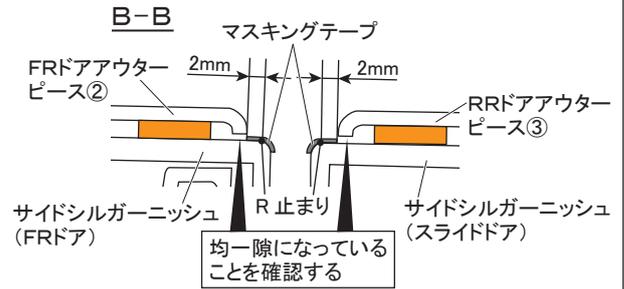
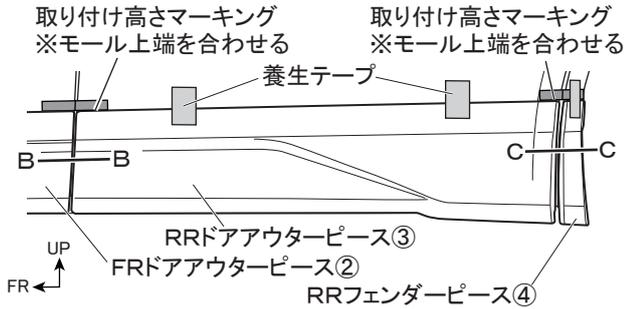


26. 図 19 のようにFRドアアウターピース②のモール上端を取り付け高さマーキング、側面末端を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両にあって、下面をクリップB⑫（左右各3箇所、※仮差し）、タッピングスクリューA⑦（左右各1箇所）、タッピングスクリューB⑨（左右各1箇所）で仮締めし、養生テープで仮固定する。



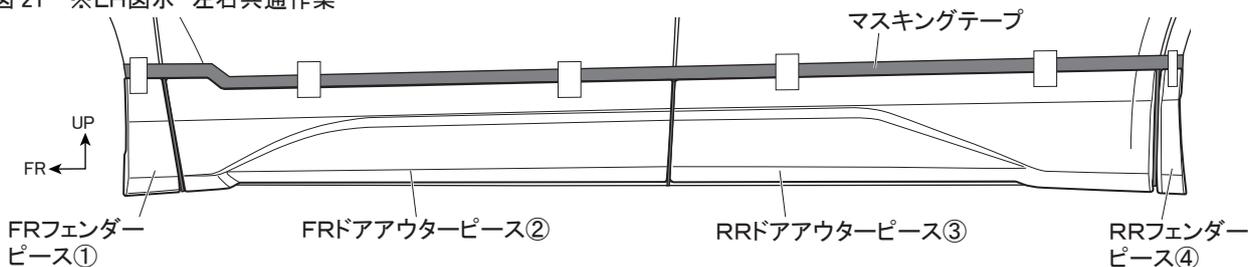
27. 図 20 のようにRRドアアウターピース③のモール上端を取り付け高さマーキング、側面末端を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両に於て、下面をクリップB⑫(左右各3箇所、※仮差し)、タッピングスクリューB⑨(左右各1箇所)で仮締めし、養生テープで仮固定する。

図 20 ※LH図示 左右共通作業



28. 図 21 のようにFRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRフェンダーピース④のモール上端に合わせて車両側面にマスキングテープを貼り付ける。

図 21 ※LH図示 左右共通作業

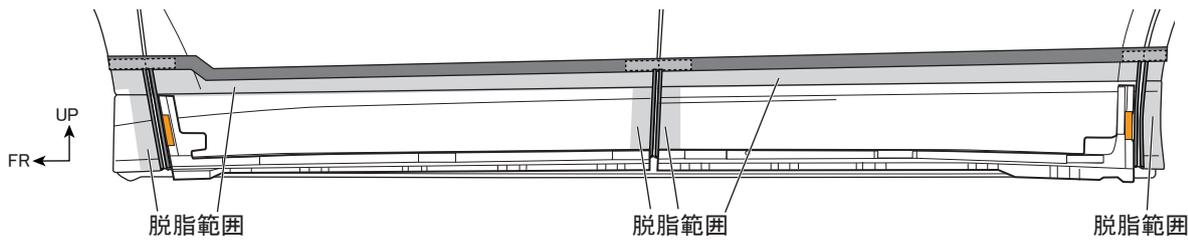


△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

29. FRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRフェンダーピース④を取り外す。

30. 図 22 のようにFRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRフェンダーピース④の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 22 ※LH図示 左右共通作業

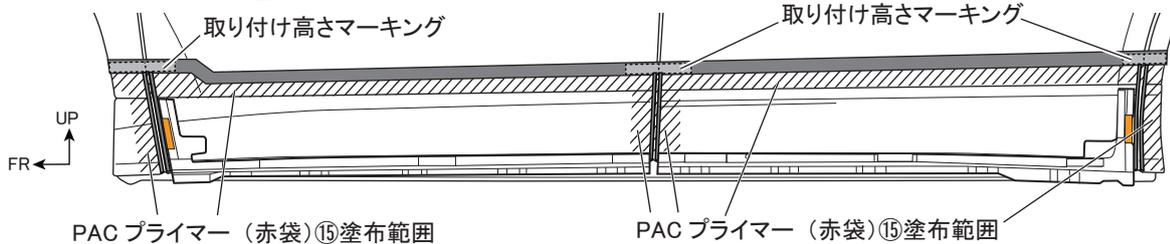


アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

31. 図 23 のようにFRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRフェンダーピース④の両面テープ貼り付け部（下図斜線部）にPACプライマー（赤袋）⑮を塗布する。

図 23 ※LH図示 左右共通作業

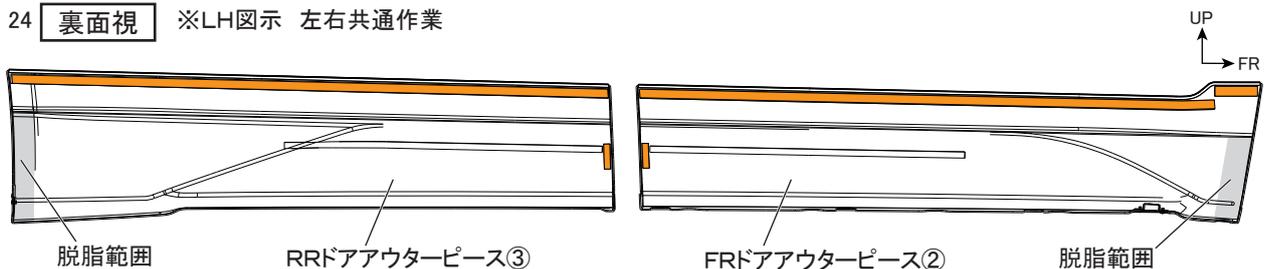


△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

32. 13 ページ 28. で貼り付けたマスキングテープのみ剥がす。
※取り付け高さマーキングおよび各サイドシルガーニッシュ間に貼り付けたマスキングテープは剥がさないでください。

33. 図 24 のようにFRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③裏面下図位置の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 24 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

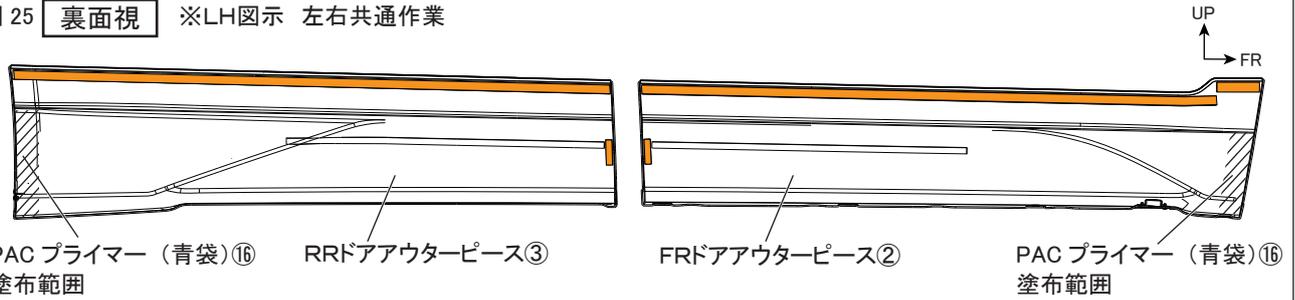


アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

34. 図 25 のようにFRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③裏面下図位置の両面テープ貼り付け部（下図斜線部）にPACプライマー（青袋）⑩を塗布する。

図 25 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

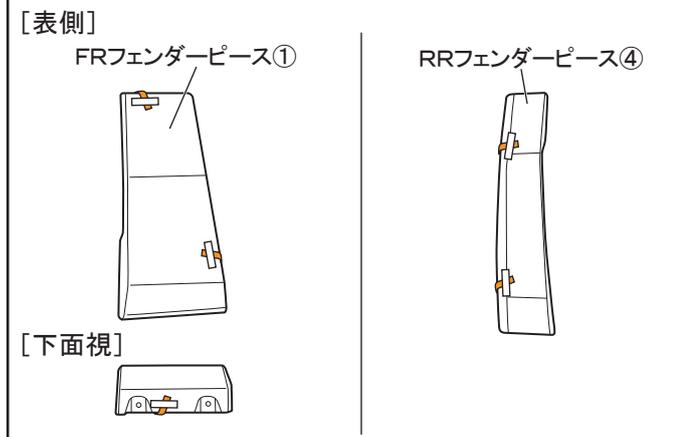
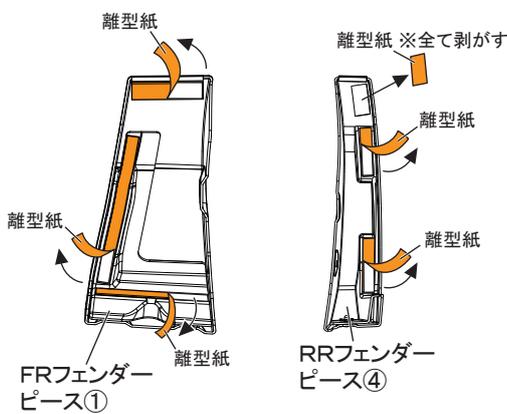


△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

35. 図 26 のようにFRフェンダーピース①、RRフェンダーピース④裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。

（FRフェンダーピース①：左右各3箇所、RRフェンダーピース④：左右各2箇所、全剥がし左右各1箇所）

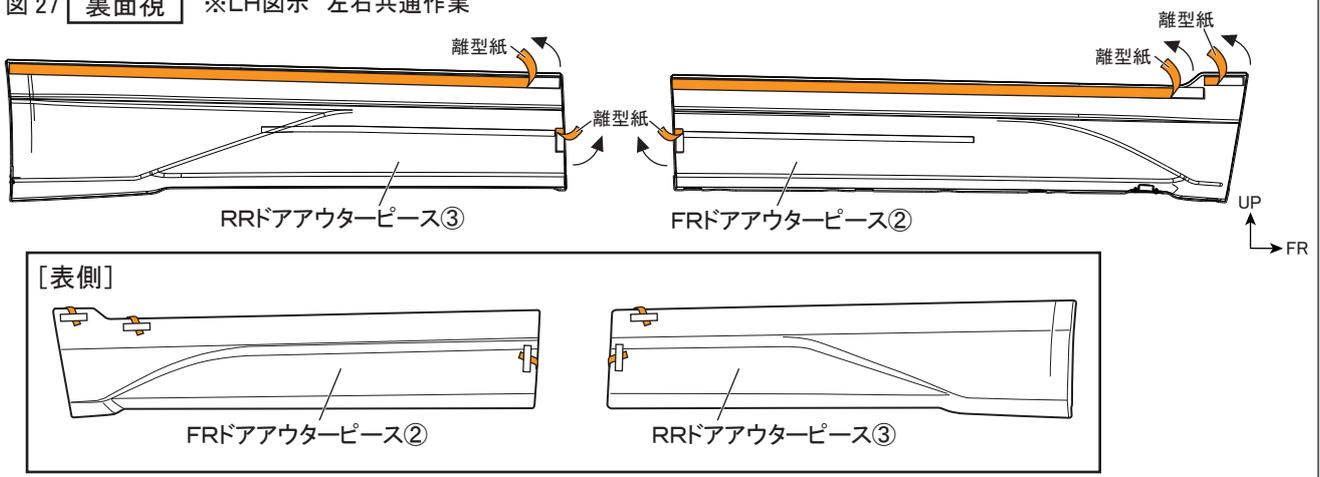
図 26 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



36. 図 27 のようにFRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。

（FRドアアウターピース②：左右各3箇所、RRドアアウターピース③：左右各2箇所）

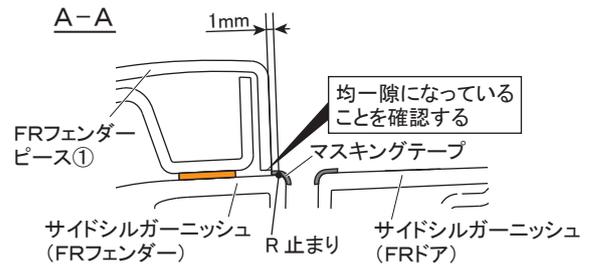
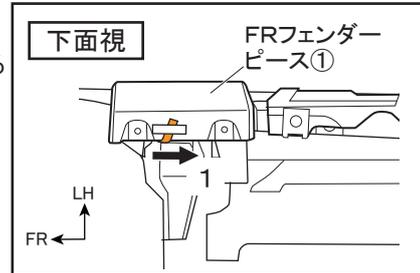
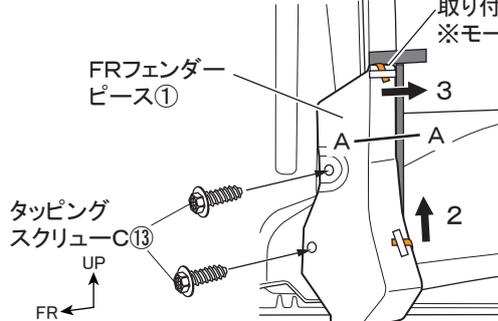
図 27 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



□ サイドスカート取付要領

1. 図 28 のようにFRフェンダーピース①のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部をタッピングスクリューC⑬で仮締めする。(左右各2箇所)
2. 図 28 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各3箇所)

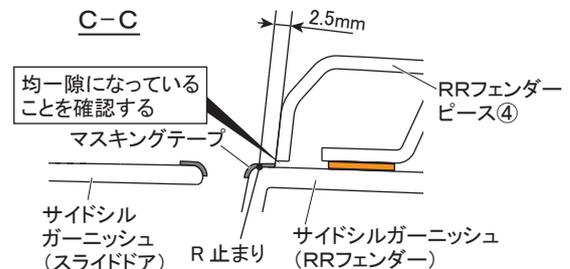
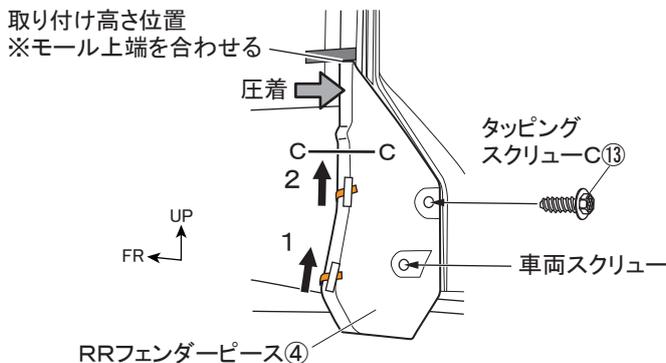
図 28 ※LH図示 左右共通作業



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

3. 図 29 のようにRRフェンダーピース④のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせ、下面を車両サイドシルガーニッシュに突き当てながら位置決めし、ホイールハウス部上側をタッピングスクリューC⑬(左右各1箇所)、下側を車両スクリュー(左右各1箇所)で仮締めする。
4. 図 29 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各2箇所)

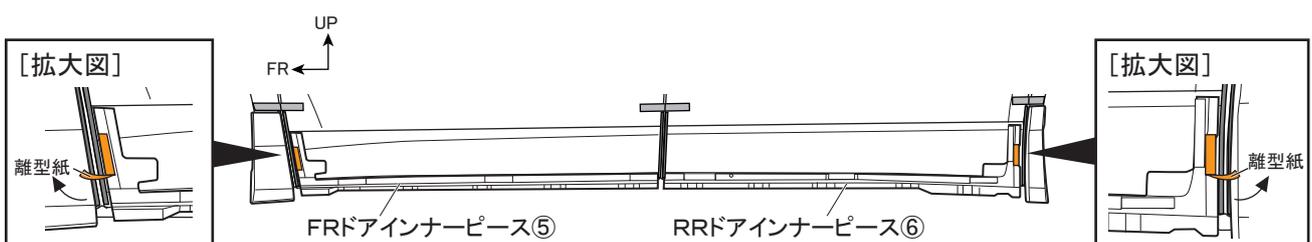
図 29 ※LH図示 左右共通作業



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

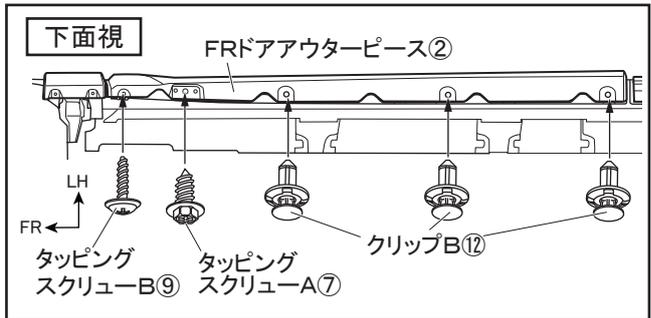
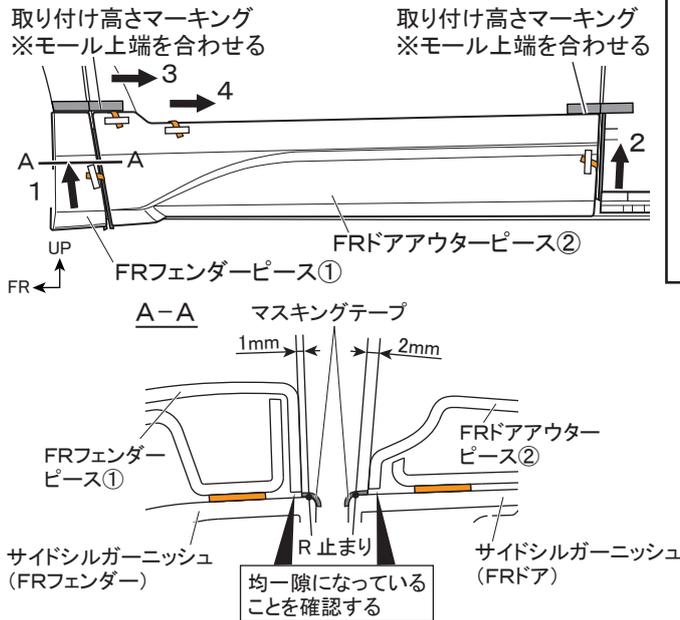
5. 図 30 のようにFRDインナーピース⑤、RRDインナーピース⑥裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向にめくる。

図 30 ※LH図示 左右共通作業



- 図 31 のようにFRドアアウターピース②のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両に於て、下面をクリップB⑫(左右各3箇所)で固定し、タッピングスクリューA⑦(左右各1箇所)、タッピングスクリューB⑨(左右各1箇所)で仮締めする。
- 図 31 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各4箇所)

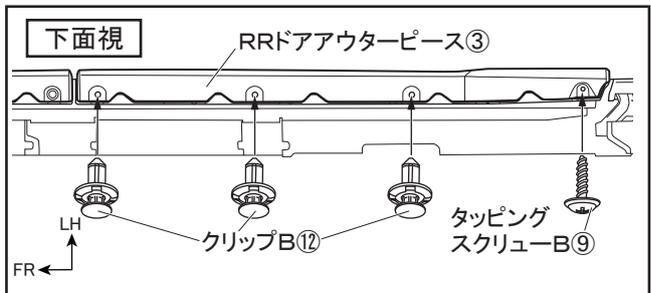
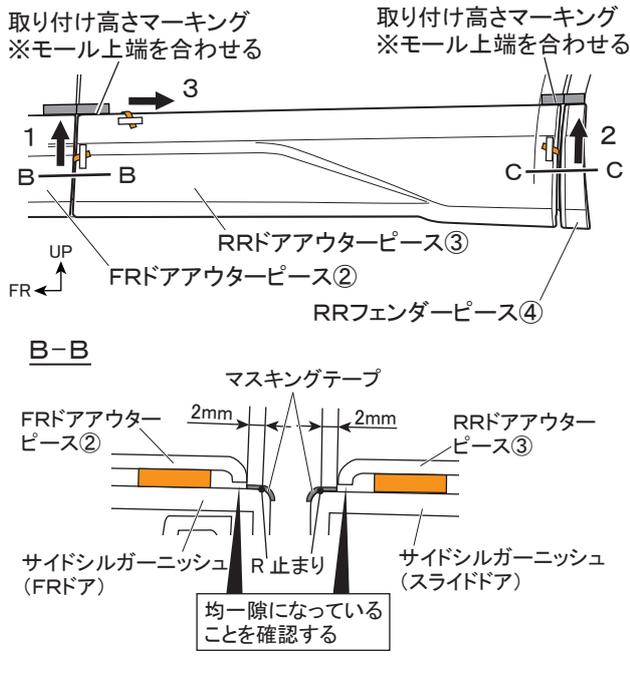
図 31 ※LH図示 左右共通作業



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

- 図 32 のようにRRドアアウターピース③のモール上端を取り付け高さマーキング、側面端末を各サイドシルガーニッシュ間のマスキングテープに合わせて車両に於て、下面をクリップB⑫(左右各3箇所)で固定し、タッピングスクリューB⑨(左右各1箇所)で仮締めする。
- 図 32 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各3箇所)

図 32 ※LH図示 左右共通作業



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

**アドバイス**

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、
掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

**警告**

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

10. タッピングスクリューA⑦(左右各1箇所)、タッピングスクリューB⑨(左右各2箇所)、タッピングスクリューC⑬(左右各3箇所)、車両スクリュー（左右各1箇所）で本締めし、取り付け高さマーキングおよび全てのマスキングテープを剥がす。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

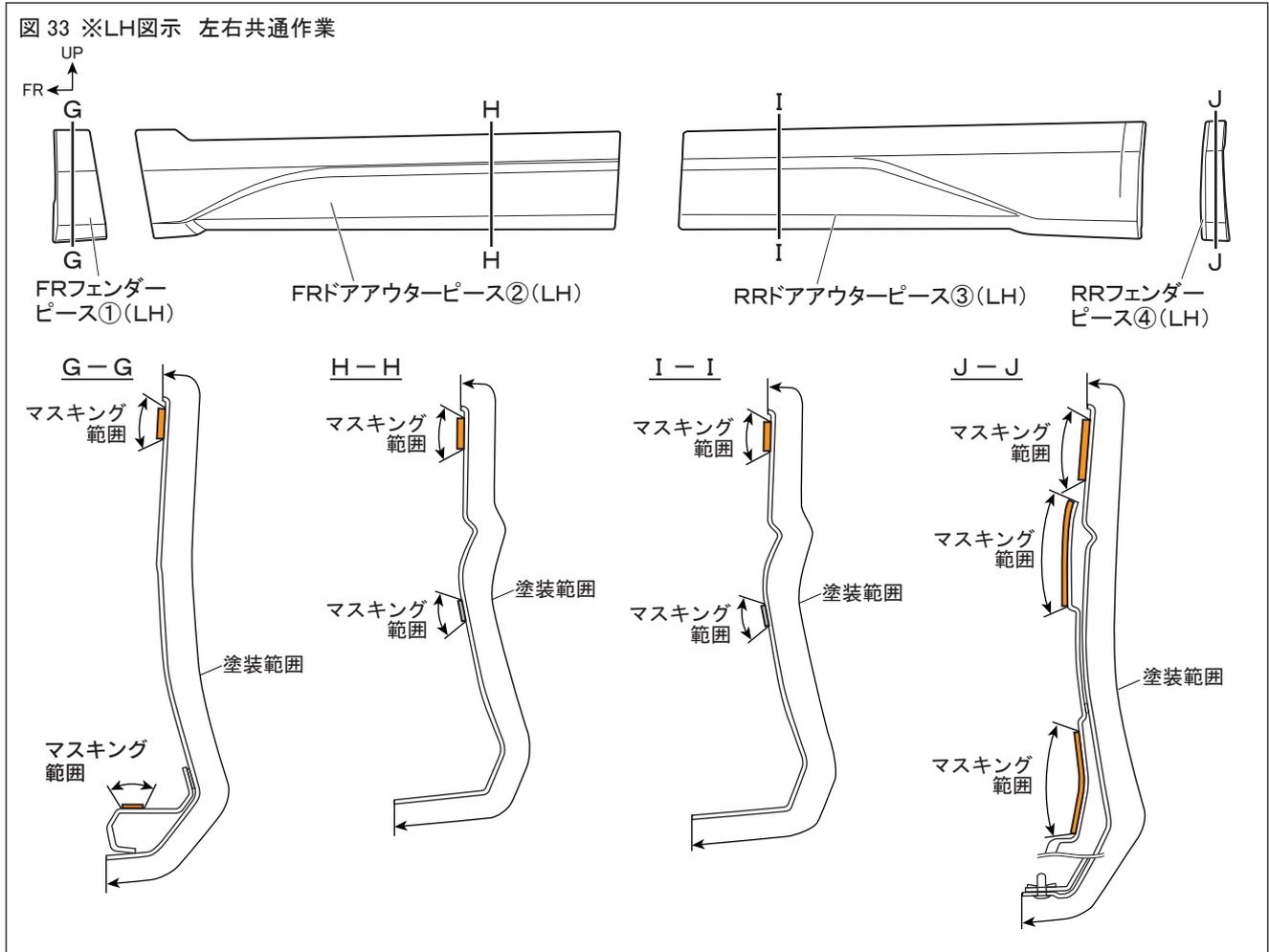
下記は未塗装品（MS344-28012-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ サイドスカート塗装

1. 図 33 のようにFRフェンダーピース①、FRドアアウターピース②、RRドアアウターピース③、RRドアアウターピース④を車両色で塗装する。

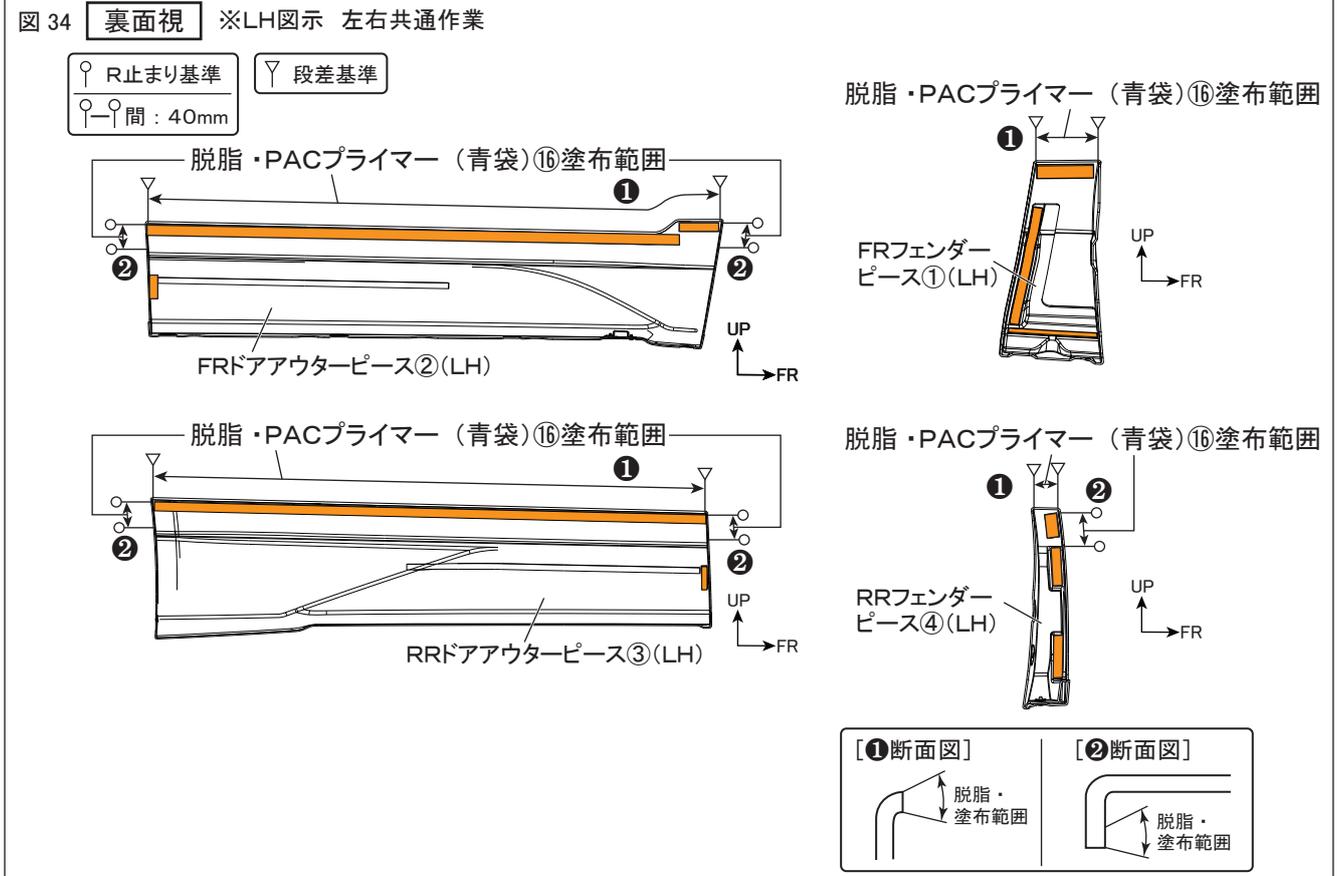


△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□モールの貼り付け

1. 図 34 のようにモール（イ型）^⑱、モール（L型）^⑲貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、モール貼り付け部のみPACプライマー（青袋）^⑳を塗布する。



△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

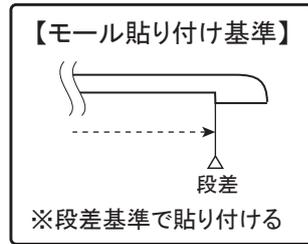
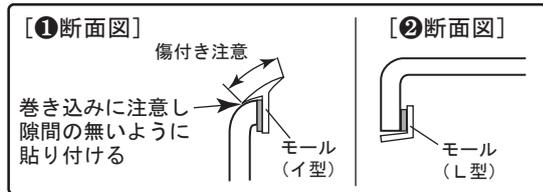
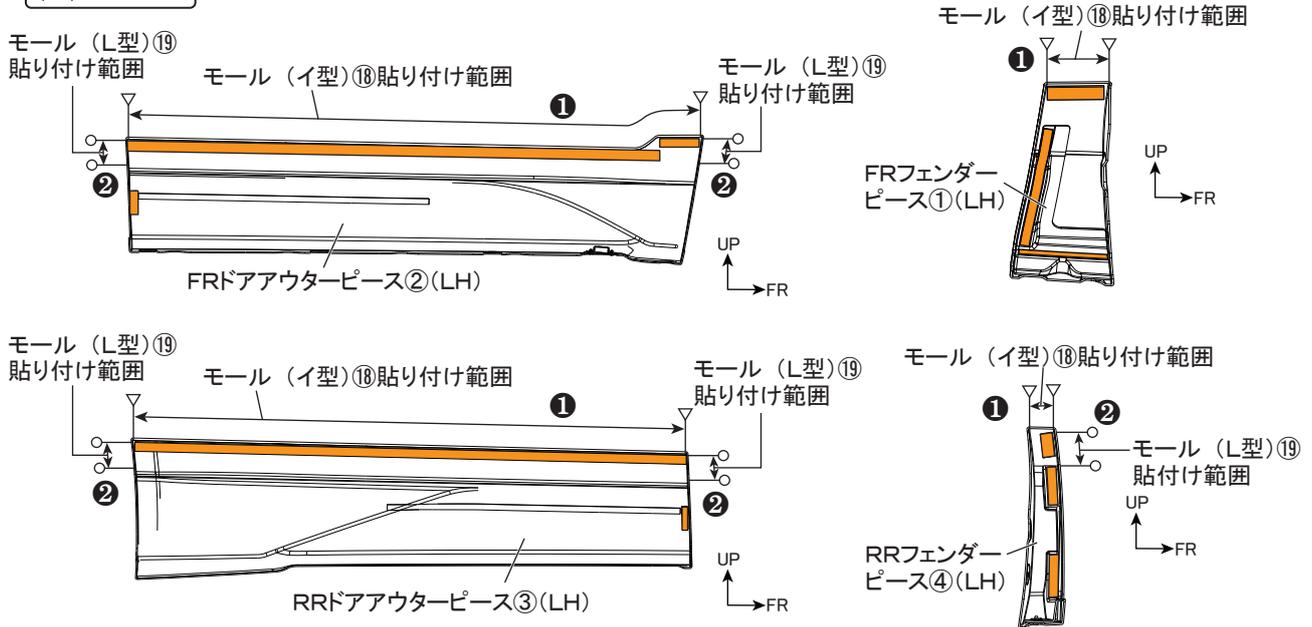
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：PACプライマー（青袋）はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 図 35 のようにモール (イ型)⑩、モール (L型)⑪の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。
 モール (イ型)⑩、モール (L型)⑪は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

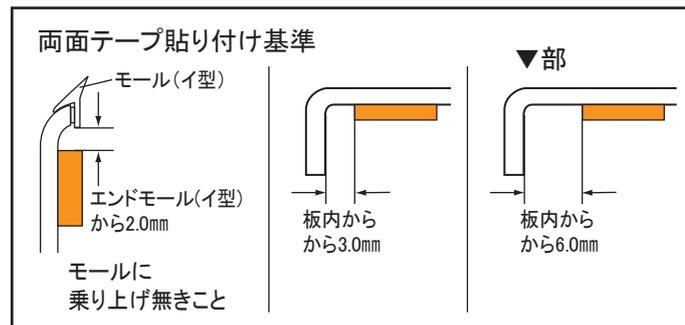
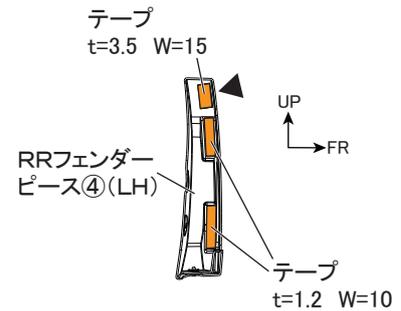
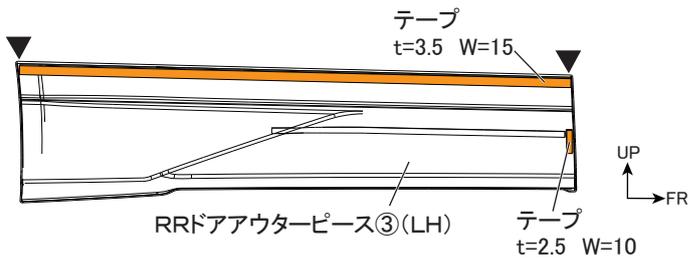
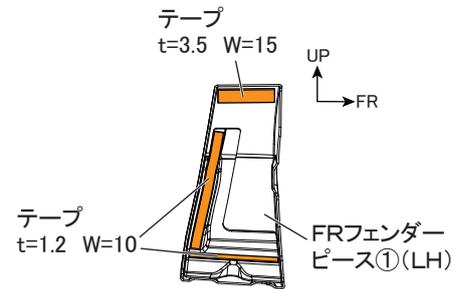
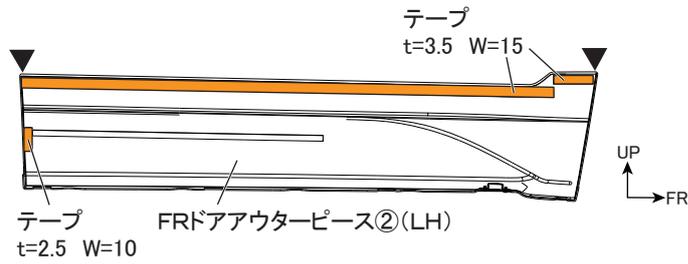
図 35 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してサイドスカートの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
 ※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

裏面視 ※LH図示 左右共通作業



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
 TRD 商品問い合わせ窓口
 TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>

